

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者福祉の啓発		款	4	項	1	目	3	事業	6	整理番号	187		
担当部課名		保健福祉部障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1142		昨年度整理番号	178			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事業開始		昭和	▼	51	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 障害者基本法第5条、7条、23条 (2) 杉並区障害者福祉推進協議会設置要綱									
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進協議会委員。その他。		活動指標名(式)		(1) 「うえるフェスタ」参加団体・作業所数 (2) 「ふれあい美術展」出展数									
事業の概要		○障害のある人もない人もお互いにふれあう機会を通じて、ノーマライゼーションの理念についての理解と認識を深める。 ○障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることができる。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進協議会を開催する。 ○障害者の生活支援サイト「の～まらいふ杉並」を運営する。アクセシビリティに十分配慮し、誰もが使いやすいサイト作りに取り組む。 ○「ふれあい美術展」や「障害者区議会」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。		成果指標名(1)		障害者生活支援サイト「の～まらいふ杉並」年間アクセス数									
				算定式・指標の説明等											
				成果指標名(2)		障害者福祉推進協議会開催回数									
				算定式・指標の説明等											
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)	① 組	70	72	57	57	57	57	57	100.0	100.0				
	活動指標(2)	② 点	214	220	240	245	245	245	245	100.0	100.0				
	成果指標(1)	③ 件	36,207	100,000	198,311	220,000	107,847	200,000	53.9	49.0					
	成果指標(2)	④ 回	13.0	11.0	11.0	12.0	3.0	3.0	100.0	25.0					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	16,102	17,499	12,924	10,858	10,335	23,077	21年度予算執行率%		95.2				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	⑦ 千円	8,269	14,872	10,572	8,236	8,235	14,954							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.75   0.20	1.95   0.00	1.95   0.00	2.00   0.00	2.10   0.00	2.50   0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	15,995	17,648	17,648	17,758	18,646	22,198						
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	554	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	32,651	35,147	30,572	28,616	28,981	45,275							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫ 円	466,443	488,153	536,351	502,035	508,439	794,298							
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭ 千円	4,498	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮ 千円		4,000	3,979	4,000	3,499	3,506							
その他の補助金等		⑯ 千円		0	0	0	0	498							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	4,498	4,000	3,979	4,000	3,499	4,004							
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	28,153	31,147	26,593	24,616	25,482	41,271							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 187

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	障害者支援サイト(執)				8,195
	障害者週間事業(執)				813
	障害者福祉推進協議会(執)				221
	その他(管理事務費・郵送費等)				1,106
(2)事業実績	障害者支援サイトについては、開設当初から区職員・運営事業者等により構成される「の～まらいふ杉並運用会議」を適宜開催し、アクセシビリティに維持向上に努めています。平成21年度には、より使いやすいサイトとするためトップページの大幅な改正、情報分類の見直しを行いました。障害者週間事業については、障害者団体をはじめ、関係機関の協力を得ながら実施しました。				
事業開始当初から現在までの変化	平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に、精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、施設体系やサービス体系が大きく変化しました。杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「うえるフェスタ」が、平成21年度で終了となりました。				
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害当事者の声を予算や施策に反映して欲しい。障害者に関連する福祉施策の変化が大きく、冊子のてびきでは対応できない。障害者支援サイトにより、最新の情報を提供して欲しい。社会福祉協議会と共催で「うえるフェスタ」を開催してきたことにより、あらゆるジャンルの方の、様々な視点を取り入れることができました。				
今後の予測	現在国で検討されている障害者自立支援法の廃止にあわせ、障害当事者の声を区政に反映させていくことに対する重要性がより増していくことが予想されます。				
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	障害者福祉推進協議会や障害者区議会を実施することにより、区民から障害者福祉施策や区政全体に対して直接意見を得ることができました。障害者に関する情報提供は、障害者の地域社会での自立支援に大きく貢献しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	障害者週間事業について、実行委員会の機能を強化し、より充実した事業を実施していきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	事業の性質上、受益者負担は発生しません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	すべて事業者への委託により行っている障害者支援サイトへの情報掲載や更新について、簡易な更新を直接行うことにより、委託コストを下げるができます。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	障害者支援サイトのアクセス数が、前年度に比べ大幅に低下しています。掲載情報の充実にあわせ、サイトをより活用していただけるよう、広く周知に努めていきます。障害者週間事業については、週間事業として実施している各種事業を全体的に見直し、障害者団体等と協議しながらより充実した内容としていきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	障害者週間事業の一環として実施している「障害者区議会」について、質問時のパネル使用や発言内容を表示するモニターの増設など、より伝わりやすく、わかりやすい方法を工夫しました。他の事業についても、関係団体との協議を重ね、より主体的に活動ができるよう適切な支援を行いました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	一体的に実施していた「うえるフェスタ」が終了したことにより、区民の障害理解をより深めることができるよう、新たな視点で検討し、関係機関と協力しながら事業を実施していきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	新たな方法による障害者週間事業の実施には、関係者の理解や協力が欠かせません。障害者・支援者・障害者団体等との連携を深め、よりよい方法を模索していきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	概ね同規模の予算の範囲内で実施できるよう、検討していく予定です。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者団体への助成		款	4	項	1	目	3	事業	7	整理番号	188
担当部課名		保健福祉部障害者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	179	
上位施策No・施策名		33 障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	39	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区内の障害者、一般区民、心身障害者団体		根拠法令等		(1) 障害者基本法第3条、第4条 (2) 杉並区心身障害者団体助成要綱					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。		活動指標名(式)		(1) 団体の事業開催回数 (2) 団体事業活動の参加者数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 ○心身障害者の生涯学習事業(親子スポーツ教室)に係る経費の一部を助成する。 ○障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)			
指標	活動指標(1)	①	回	154	155	135	140	137	98	139.8	97.9		
	活動指標(2)	②	人	3,684	3,831	3,664	3,670	3,310	3,258	101.6	90.2		
	成果指標(1)	③	%	103	104	99	100	90	89	101.1	90.0		
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	12,272	14,017	11,859	14,017	11,092	12,117	21年度予算執行率% 79.1			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成21年度予算執行率が、79.1%だった主な理由は、次のとおりです。 ・実施団体に補助している「親子スポーツ教室」について、講師が見つからず事業の継続が困難となり、平成21年度未実施だった。 ・宿泊訓練等交通経費の補助が、当初予定額を大きく下回った。			
	(内)委託費	⑦	千円	0	6	0	6	6	6				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00				
	人件費	⑨	千円	9,140	9,050	9,050	8,879	8,879	8,879				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	21,412	23,067	20,909	22,896	19,971	20,996				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	139,039	148,819	154,881	163,543	145,774	214,245				
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
	国からの補助金等	⑭	千円	33	0	0	0	0	0				
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰	千円	33	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑰-⑱	⑲	千円	21,379	23,067	20,909	22,896	19,971	20,996					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 188

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	心身障害者団体への運営経費の助成(執)	16	団体	10,242
	ふれあい運動会(執)	1	回	850
	その他 ( )			0
(2)事業実績	心身障害者団体への運営経費の一部を助成することにより、障害者の積極的な社会参加の機会を作ることができました。また、ふれあい運動会では、障害者の社会参加促進により、地域社会における障害者への理解を深めることにつながりました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	心身障害者団体(助成団体)は、当初10団体から始まり、平成19年度からは16団体、平成22年度から15団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。親子スポーツ教室については、昭和57年から平成20年度まで助成しました。ふれあい運動会は昭和61年に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会制度により実施しています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、区からの団体助成について現状維持を望む声が強いです。各事業には一般区民や学生が多く参加しています。福祉教育及びボランティア育成の足がかりとしても成すところが大きい事業です。		
	今後の予測	心身障害者団体(助成団体)については、会員数が増加する団体がある一方、高齢化が進み活動人数が減少している団体もあります。よって、団体ごとの活動規模の差が広がる可能性があります。		
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 障害者の積極的な社会参加の機会を促進しています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	心身障害者団体の運営活動に係る経費の一部助成については、各団体への配分基準を見直し、それぞれの団体の活動規模や内容に応じた助成にします。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	各団体ごとに年会費を設定し、会員から徴収しています。ふれあい運動会は、事業の性格上、参加者から費用を徴収することはありません。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	自立活動が可能な心身障害者団体については自立を促しています。現状では、各活動の経費についての一部を助成することによって、障害者の自立や社会参加の機会を促進しており、助成の削減はできません。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	ふれあい運動会は区民・団体・行政による実行委員会形式で実施しており、障害者の積極的な社会参加や障害のある人もない人も自然に交流する地域社会づくりに寄与しています。また、障害者団体活動助成により、障害者団体活動が活性化しており、障害者福祉の向上にむけて行政との協働推進の観点からも有効な事業です。団体構成員の高齢化等により活動形態の変化や会員数の減少等の状況があり、補助内容についても検討が必要です。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	助成対象団体について、事業計画書、事業報告書による活動内容や実態を把握し、補助内容の分析を行いました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	助成団体についての活動や会計規模に差が広がりつつある中、どの団体も積極的な活動ができるよう、補助対象となる経費やその額について、検討をしていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	各団体の事業計画書、事業報告書、ヒアリング等により活動実態を把握・分析し、団体と調整を図りながら見直しを行います。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	団体の活動状況には、大きな増減はないと見込まれます。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者通所訓練・授産事業等		款	4	項	1	目	3	事業	9	整理番号	190		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	181			
上位施策No・施策名		33 障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分				既定事業							
事業開始		昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
事務事業の概要	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 障害者基本法第16条の3 (2) 杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施要綱								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		小規模作業所等が自立支援法の法内の事業に移行するまでの間、心身障害者通所訓練・授産事業の経費の一部を助成することにより、心身障害者の福祉の向上を図る。作業所で働く利用者の工賃を1.5倍にするために「すぎなみ仕事ねっと」の活動を支援する。		活動指標名(式)		(1) 通所者数(登録者) (2) 助成団体数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施団体に対し、年2回通所者の利用状況等による交付基準に従い、指導員人件費等事業の運営に必要な経費の一部を助成する。 ○すぎなみ仕事ねっとに対して、運営に必要な経費を助成する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 年間延べ通所者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 前年度に対する工賃アップ作業所数 算定式・指標の説明等 移行施設を含む								
	区分		単位	19年度	20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
指標	活動指標(1)	①	人	206	143	133	142	146	75	194.7	102.8				
	活動指標(2)	②	所	13	9	13	9	9	4	225.0	100.0				
	成果指標(1)	③	人	38,867	26,908	38,120	29,010	28,485	11,832	240.7	98.2				
	成果指標(2)	④	所	8.0	20.0	11.0	13.0	15.0	20.0	75.0	115.4				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	263,077	273,277	260,275	199,048	192,348	111,080	21年度予算執行率%		96.6			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 指標について、障害者自立支援法に基づく新体系への移行を目的としているため、助成団体や通所者数を減らすことが目標となります。平成21年度の実績は、4月1日現在の団体数は9団体でした。22年度4月に5団体移行し、22年度は4団体となりました。22年度の事業費数値は22年4月1日現在9団体を基準に算出したものです。					
	(内)委託費	⑦	千円	525	12	11	527	473	642						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	1.65 0.00	1.84 0.00	1.65 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	5,484	5,430	5,430	14,650	16,337	14,650					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	268,561	278,707	265,705	213,698	208,685	125,730						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,303,694	1,949,000	1,997,782	1,504,915	1,429,349	1,676,400						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	73,319	37,500	37,500	15,000	15,000	15,000					
		都からの補助金等	⑮	千円	/	0	0	0	0	0					
		その他の補助金等	⑯	千円	/	0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	73,319	37,500	37,500	15,000	15,000	15,000						
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	195,242	241,207	228,205	198,698	193,685	110,730						
受益者負担比率⑬÷⑱	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 190

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	訓練・授産事業運営助成	9	所		173,180
	授産事業通所者交通費及び給食費	延1,022	人		15,356
	すぎなみ仕事ねっと補助金	17	所		3,812
	その他 ( )				0
(2)事業実績	自立支援法に基づく施設に移行していない小規模作業所に対し、運営費の一部を助成することにより安定的な運営を図りました。また、障害者の工賃アップを図るため、「すぎなみバンマップ」を作成・配布するなどに取り組みました。				

事業開始当初から現在までの変化	小規模作業所は徐々に増加してきましたが、平成18年度をピークに16所となりました。19年度に1所廃止と2所合併により新体系への移行がありました。21年2月に4所が1所として合併し新体系に移行したため、21年4月現在、小規模作業所は9所でした。22年4月1日に5箇所移行したため、現在は4箇所です。作業所で働く障害者の工賃アップにおいては、自主生産品の開発や販路拡大を支援することにより作業所の取り組みも向上しています。
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者自立支援法の施行後当初は、新体系移行後の利用料に対する要望や苦情が目立ちましたが、移行支援策が定着してきた21年度は、特に苦情等ありませんでした。
今後の予測	国では、小規模作業所に対して平成23年度末を目途に新体系への移行を求めているのに加え、区としても、すべての小規模作業所が段階的に移行できるよう移行支援策を構築するなど、条件整備を進めます。

左の理由または具体的内容	
(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	新体系に移行するまでの間、心身障害者に日中活動の場を提供し、社会的自立と就労機会を増やしてくれる小規模作業所への支援は重要と考えます。
(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	心身障害者の社会参加、復帰、安定した就労に向け、小規模作業所に対して新体系への移行を勧奨していきます。
(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	地域生活支援事業手数料にかかる費用の負担割合の軽減により、3%を利用者が負担することになっているため、運営費の助成も利用者負担を3%としています。
(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	新体系に移行しても、これまでどおり施設が運営を継続していくためには、施設への支援は必要と考えます。ただし、訓練等給付への移行が増えれば、コストを下げることは可能です。

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	障害者自立支援法の施行後、小規模作業所の新体系への移行も進み、平成18年度に16所あった小規模作業所は、平成21年度には9所に減少しました。21年度で終了予定だった移行支援策の時限延長や対象の拡大もあり、22年4月には5所移行しました。今後も、地域活動支援センターの設置準備も合わせて、移行の支援を進めます。すぎなみ仕事ねっとへの支援により、自主生産品の開発も進み工賃がアップした作業所も15ヶ所になりました。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	新体系への移行を進める上で、小規模作業所の自立した施設運営を踏まえれば、地域活動支援センターよりも訓練等給付への移行が効果的であり、小規模作業所から理解が得られるよう押し進めます。すぎなみ仕事ねっとの補助金の期間が終了しますが、引き続き作業所への支援は継続していきます。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成23年度末を小規模作業所の新体系への移行期限としているため、訓練等給付への移行ができない施設については、円滑な新体系への移行を考慮する必要があります。今後は訓練等給付への移行が困難な施設につき、さらなる移行支援策の充実を図りながら、地域活動支援センターへの移行を視野に入れた取り組みを進めます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	今まで訓練等給付への移行支援策を実施してきたなかで、小規模作業所の理解は概ね得られていますが、負担感はまだ残るため、きめ細かな支援策を構築する必要があります。作業所の工賃アップについては、住民や企業等の理解によることも多いので、引き続き区が支援する必要があります。								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	● 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	平成22年度には再編による移行予定の小規模作業所もあり、作業所間の合併、再編も視野に支援を進め、平成23年度末には全て移行完了を目指し支援していきます。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団			款	4	項	1	目	3	事業	14	整理番号	195				
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課			係名	管理			連絡先電話番号	2274		昨年度整理番号	186					
上位施策No・施策名										33 障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	10	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	3	施策番号	4	事業コード	18	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	財団法人杉並区障害者雇用支援事業団									根拠法令等	(1) 杉並区特例財団法人に対する助成に関する条例 (2) 杉並区特例財団法人に対する助成に関する条例施行規則	
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。									活動指標名(式)	(1) 雇用支援対象者数(雇用支援センター職業準備訓練生+登録者) (2) 職場定着支援訪問件数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。									成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 就職者の割合 算定式・指標の説明等 事業団からの就職者数÷支援対象者 成果指標名(2) 離職者数 算定式・指標の説明等 当該年度の就職者のうち						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%						
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画(目標値)								
指標	活動指標(1)	①	人	96	100	79	100	79	90	87.8	79.0							
	活動指標(2)	②	件	868	950	806	950	904	900	100.4	95.2							
	成果指標(1)	③	%	46	60	50	70	55	70	78.6	78.6							
	成果指標(2)	④	人	4.0	5.0	4.0	3.0	6.0	5.0	120.0	200.0							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	97,039	107,119	102,159	115,074	104,071	103,932	21年度予算執行率%		90.4						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.35 0.00	0.35 0.00	0.35 0.00	0.35 0.00	0.39 0.00	0.35 0.00	5月に旧高井戸事務所跡地に移転をしました。場所もわかりやすくなりました。相談件数も増え、実際の就職者数も、若干増えています。定着支援者数が100名ほど増えましたが、離職者数の変化はありませんでした。離職の理由は、精神障害者など生活支援の課題を持った方が、体調などの理由により離職される場合が多いようです。								
	人件費	⑨	千円	3,199	3,168	3,168	3,108	3,463	3,108									
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	100,238	110,287	105,327	118,182	107,534	107,040									
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,044,146	1,102,870	1,333,253	1,181,820	1,361,190	1,189,333									
	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0										
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	100,238	110,287	105,327	118,182	107,534	107,040										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 195

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	運営費助成				103,878
	区役所実習奨励金	27	人		193
	その他 ( )				0
(2)事業実績	5月に旧高井戸事務所後に移転し、事業を行ないました。区民への周知を徹底し、相談の件数も増え、就職者数も、雇用情勢の悪化にもかかわらず微増しています。しかし、生活上の課題のある精神障害者の就労もあつたことから、体調の変化により、離職した方の数も若干増えました。区役所実習については、区でチャレンジ雇用をしたために区役所での対応人数は減りましたが、企業等への実習を可としたことにより、より多様な実習ができました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことにより、障害者の地域での自立した生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が期待されています。法定雇用率が高まったことや国の障害者雇用施策の強化により障害者雇用に対する企業意識が高まっています。しかし、不況による社会全体の雇用情勢の悪化などから障害者の雇用は厳しいものとなっています。区役所において、2名の方を知的障害者のチャレンジ雇用として採用しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者自身または保護者及び施設職員などの就職に対する不安解消への対応や、障害者を雇用する側の企業に対する支援も含め、雇用から定着までの一環した支援の充実が期待されています。精神障害者の就労支援について更にスキルアップをする必要があるなどの要望がありました。			
	今後の予測	障害者の就労は、社会的な情勢によるところが大きいものですが、障害者の方の働きたいというニーズは今後も増えていくと思われます。特に精神障害者や発達障害など新たな支援対象者もますます増え、障害者側、企業側双方から事業団に関する期待は高まると予想されます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	障害者の社会参加や就労機会の拡大に大きく寄与しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	事業団内の組織や役割分担の再編で効果をあげることは出来ます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	運営助成である。就労を希望する障害者に受益者負担を求めることは出来ません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	大半は人件費ですが、管理部門の職員の効率化を図ることなどにより経費節減はある程度可能です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	社会経済状況が厳しい中においても、障害者の就労及び定着支援に向けて着実に実績を上げています。また、作業所等からの一般就労に向けての取り組みの支援も行ない重要な役割を担っています。精神障害者への就労支援も始めており、生活支援が必要である方への相談や対応についてのスキルアップを更に図っていく必要があります。今後、公益法人改革への対応も含め、雇用支援センター事業の廃止後の事業団のあり方について検討をおこなっていきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	高井戸に事務所を移転し、新しい場所で事業展開もしやすくなりました。その効果を生かし、障害者就労支援事業推進プラン(平成21~25年度)をもとに、具体的な目標と内容を明確にして事業の改革推進に取り組みました。社会経済状況が厳しい中、大幅な就職者の増は難しい状況にありますが一人ひとりに着目した具体的な支援に取り組んでいます。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成23年度末までに、障害者雇用支援センターは廃止されます。補助金への依存度や職業準備訓練のあり方等、総合的視点から事業のあり方を検討し、22年秋には今後の方針を出していきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	精神障害者、発達障害者、重度の知的障害者など多様な支援が必要な方への対応や職員の技量の向上が必要です。特に増大する精神障害者のニーズに対応するためには多くの機関との連携が必要です。また万一、離職した場合の支援のあり方なども重要になります。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	22年度に検討を行なう公益法人改革の方針に基づきあり方を見直していきます。							



# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者福祉タクシー等		款	4	項	1	目	3	事業	20	整理番号	201
担当部課名		保健福祉部障害者施策課		係名	障害者福祉係		連絡先電話番号		1145		昨年度整理番号	192	
上位施策No・施策名		33 障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分		既定事業							
事業開始		昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		移動の困難な心身障害者で、各事業の要件該当者		根拠法令等		(1) 杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱 (2) 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱					
事務事業の概要	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○移動に要する費用の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を支援する。		活動指標名(式)		(1) 福祉タクシー券利用者数 (2) 燃料費助成対象人数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○月5,300円分の福祉タクシー券を3ヶ月分ずつ支給する。 ○月620を上限にガソリン代を10あたり50円(軽油30円)助成する。 ○身体障害者手帳又は愛の手帳の所持者で、常時車いすを利用する方及び寝たきりの方を対象に、リフト付タクシーに利用できる補助券を支給する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 発行した福祉タクシー券の利用率 算定式・指標の説明等 発行した福祉タクシー券の額面総額にしめる支払済み乗車料金の割合 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
指標	活動指標(1)	①	人	6,086	6,276	6,233	6,567	6,346	6,485	97.9	96.6		
	活動指標(2)	②	人	1,453	1,578	1,523	1,542	1,566	1,612	97.1	101.6		
	成果指標(1)	③	%	93.31	91.00	89.86	91.00	90.70	90.00	100.8	99.7		
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	300,761	312,459	306,933	320,412	319,833	320,365	21年度予算執行率%		99.8	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	7,434	277,921	274,705	284,953	284,951	285,682				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.29   0.50	1.33   0.39	1.68   0.71	1.68   0.50	1.66   0.67	1.66   1.20				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	11,791	12,037	15,204	14,917	14,739	14,739			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,385	1,092	1,988	1,397	1,871	3,352			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	313,937	325,588	324,125	336,726	336,443	338,456				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	51,583	51,878	52,001	51,275	53,017	52,191				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	3,000	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000				
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000				
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	310,937	322,588	321,125	333,726	333,443	335,456					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 201

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	タクシー乗車料金(細)		
燃料費助成(細)					30,475
リフト付タクシー運行委託(細)					8,024
福祉タクシー券印刷費					4,113
その他(支給事務費)					2,036
(2)事業実績	○福祉タクシー券 21年度末登録者 6,346名 年間発行冊数 新規758冊 継続17,775冊(1冊15,900円分) ○自動車燃料費助成 21年度末登録者 1,566名 年間延べ助成者数 12,415名 ○リフト付タクシー券 21年度末登録者 667名 年間延べ助成者数 6,264名				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	福祉タクシー券 金額増額や事業者数を増やすように要望があります。燃料費助成は、助成額増の要望があります。リフト付タクシーは、事業者の開業に伴う新規契約の希望があります。
今後の予測	福祉タクシー券は、障害者の外出機会の拡大に伴い、今後利用者増が見込まれます。リフト付タクシー券は、障害者の高齢化及びタクシー券との併用が可能であることから、急速な利用者増が見込まれます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	通院や社会参加等、障害者の行動圏拡大に大きく寄与しており、今後も一層の充実が必要です。リフト付タクシーは協定事業者を複数に増やし利用拡大に努めたことで、利用者数、利用回数とも増加し効果が大きいです。
(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策	福祉タクシー券は利用者の増加が続いており、現行の事業費での事業継続は困難です。
(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	福祉タクシー券・リフト付タクシーは料金の一部助成、ガソリン代は購入費用の一部助成であるため受益者負担は困難です。
(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	支給事務の外部委託、対象者の見直し、支給額の見直しなどで検討の余地があります。

協働等点検	(1)協働等は実現しているか	(2)協働等の相手	
	十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)	
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

評価と課題	国
	国の規制緩和によって患者等輸送限定車両が普及するなど、タクシーは高齢者・障害者等の移動手段として大きな役割を担う存在へ期待が高まっています。一方、今後の高齢者人口の増加による利用者の増加が想定され、持続可能な制度とするために、対象要件や福祉タクシー券事業とリフト付タクシー券の併用により1ヶ月あたり最大22,180円の利用が可能になっている給付額等の見直しが必要となっています。障害者の移動を支援する関係施策を総合的に見ながら、適切な制度となるよう検討をします。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	福祉タクシー券については、平成22年4月発行分より1回の請求につき6ヶ月分(1冊31,800円分)を交付するように変更しました。リフト付タクシー券については、平成21年4月より1ヶ月あたり車いす利用券8枚、ストレッチャー券2枚を交付するように変更しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	福祉タクシー券の見直しで、今後 ①所得制限の導入 ②給付額の減額 ③必要度に応じた加算導入 ④65歳以上の新規申請の制限の導入について検討を続け、利用者の増加に対応した効率的な事業運営を図ります。また、リフト付タクシー券については、来年度分の券の発行方法の見直しをします。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	年齢等の制限を導入することで、対象者となる範囲が狭まりますが、代替施策として高齢者サービスとしての移動支援事業の創設が考えられます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	移動困難な高齢障害者の増加や、社会参加意識の高まりなど、障害者の移動需要は増加が見込まれます。							

## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		精神障害者共同作業所運営助成			款	4	項	1	目	3	事業	29	整理番号	210	
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	201		
上位施策No・施策名		33 障害者の社会参加や就労機会の拡大			予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	59	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			精神障害者共同作業所を設置・運営する団体		根拠法令等		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区精神障害者共同作業所通所訓練事業運営費等助成要綱						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			障害者自立支援法に基づく新体系への移行を促進するとともに、精神障害者が作業所に通所し、作業訓練・生活指導等の社会適応訓練を受けることにより、社会復帰を図る。		活動指標名(式)		(1) 助成施設数 (2) 在籍者数(10月現在)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○精神障害者共同作業所を設置・運営する団体に対して運営経費の一部を助成する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
						成果指標名(1)		新体系移行数							
						算定式・指標の説明等									
						成果指標名(2)		精神障害者共同作業所を退所し、就職(学)をした者の数							
						算定式・指標の説明等									
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	① 所	15	6	7	5	5	5	5	5	100.0	100.0			
	活動指標(2)	② 人	417	167	227	141	197	210	210	210	93.8	139.7			
	成果指標(1)	③ 所	0	7	8	11	10	11	11	11	90.9	90.9			
	成果指標(2)	④ 人	4.0	10.0	18.0	6.0	5.0	6.0	6.0	6.0	83.3	83.3			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	322,821	276,053	260,066	128,291	127,690	120,672	120,672	120,672	21年度予算執行率%		99.5		
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦ 千円	0	0	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.40 0.00	0.45 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	5,484	5,430	5,430	3,552	3,996	3,552	3,552					
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	328,305	281,483	265,496	131,843	131,686	124,224	124,224						
	単位あたりコスト	⑫ 円	21,887,000	46,913,833	37,928,000	26,368,600	26,337,200	24,844,800	24,844,800						
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭ 千円	175,222	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮ 千円		175,222	137,854	57,752	58,899	56,453	56,453						
その他の補助金等		⑯ 千円		0	0	0	0	0	0						
特定財源計		⑰ 千円	175,222	175,222	137,854	57,752	58,899	56,453	56,453						
差引:一般財源		⑱ 千円	153,083	106,261	127,642	74,091	72,787	67,771	67,771						
受益者負担比率	⑲÷⑪	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 210

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		5	所	127,690
(1)主な取組み	※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目			
	その他 ( )			0
(2)事業実績	精神障害者共同作業所5ヶ所に対し運営費の一部を助成することにより安定的な運営が図られ、利用者の社会復帰が推進されました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和59年度に区単独で精神障害者共同作業所1所の助成を開始してから、15所の助成を行ってきましたが、平成18年度に障害者自立支援法の施行に伴い、新体系への移行が進んでいます。平成21年4月現在10所が新体系に移行し、現在5所の精神障害者共同作業所に助成を行っています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者自立支援法の施行後、新体系への不安や現状維持を望む声が上がっていましたが、今では新体系への移行の理解が得られるようになりました。		
	今後の予測	新体系への移行を図るため、条件整備を進めていますが、地域活動支援センター事業への移行を含め、平成23年度末までには全ての共同作業所が移行する予定です。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	新体系への移行までの繋ぎとして、必要不可欠の事業であり、精神障害者にとって、作業所での作業やグループ活動は、社会参加、復帰の端緒となっています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	精神障害者の社会参加、復帰、安定した就労に向け、精神障害者共同作業所に対して新体系への移行を勧奨していきます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	地域生活支援事業手数料にかかる費用の負担割合の軽減により、3%を利用者が負担することになっているため、運営費の助成も利用者負担を3%としています。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	訓練等給付への移行が進むことでコストは下がります。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	障害者自立支援法の施行後、区の移行支援策を実施するなかで、訓練等給付への移行が進んでおり、18年度に15所あった共同作業所は今では5所を残すのみとなっています。残り5所についても、地域活動支援センターへの移行を含め通所者の活動の場を確保するための整備及び支援を行っていきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	障害者自立支援法施行時15所あった共同作業所は、訓練等給付への移行についての説明会等を実施し、平成21年度までに5所を残すのみとなっています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成23年度末を共同作業所の新体系移行期限としているため、訓練等給付への移行ができない施設については、円滑な新体系への移行を配慮する必要があります。今後は訓練等給付への移行が困難な施設については、地域活動支援センターへの移行を視野に入れた取り組みが必要です。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	今まで訓練等給付への移行支援策を実施してきたなかで、共同作業所の理解は概ね進んでいますが負担感はまだ残るため、きめ細やかな支援が必要です。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	● 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	22年度は移行を予定している共同作業所が1所あり、平成23年度末までには残り4所も地域活動支援センターを含め全て移行予定です。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者福祉会館事業運営		款	4	項	1	目	3	事業	33	整理番号	214		
担当部課名		障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	205			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	57	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者				根拠法令等	(1) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 同施行規則						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ・障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。 ・障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。				活動指標名(式) (1) 会議室の利用件数 (2) 会議室の利用延べ人数									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○障害者福祉会館の運営に関し、業務を委託する。 ○福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助				成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 会議室の開館日に対する利用率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	件	3,331	3,500	3,625	3,700	3,654	3,700	98.8	98.8				
	活動指標(2)	②	人	49,914	52,000	53,299	56,000	55,032	56,000	98.3	98.3				
	成果指標(1)	③	%	46	50	50	50	50	60	84.0	100.8				
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	29,073	35,109	33,371	36,109	33,441	35,673	21年度予算執行率%		92.6			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	24,586	31,016	29,279	32,016	29,352	31,580						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00	0.33 0.00	0.33 0.00	0.30 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	457	453	453	2,930	2,930	2,664					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	29,530	35,562	33,824	39,039	36,371	38,337						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,865	10,161	9,331	10,551	9,954	10,361						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	29,530	35,562	33,824	39,039	36,371	38,337						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 214

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		1	館	29,352
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	施設運営管理委託			3,000
	区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成			1,087
	運営協議会運営補助			
	その他(会館運営事務費)			2
(2)事業実績	障害者福祉会館運営協議会に対し、施設の運営管理を委託していますが、業務としては、障害者による貸部屋の受付業務や清掃業務があります。また、福祉会館まつりやレクリエーション等の運営協議会の独自事業に対しても助成しています。貸部屋の利用率は18年度41%、19年度46%、20年度、21年度50%と利用実績も年々増加しています。催し物の参加者は横ばいですが、福祉会館まつり(旧福祉展)は増えています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	障害者福祉会館運営協議会は従来から区の委託事業と自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。一方で平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託することになりました。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	福祉会館まつりは、特に運営協議会が行うトップイベントであり、障害者を始め多くの一般区民の参加もあり、好評を博しています。また各種講座も参加者数が多く喜ばれています。事業については内容や運営協議会に加盟していない障害者団体の参加、また地域への開放などについて今後の検討が期待されます。		
	今後の予測	1階の障害者雇用支援事業団との連携もより一層深め、利用者に喜ばれる事業や運営のあり方を検討していく必要があります。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	障害者の社会参加の場を増やすことは、今後も障害者施策の重要な課題と考えます。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	福祉展や各種催物の内容等について、参加者の意見を十分反映させ、内容の充実に努めます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	講習会等は障害者の社会参加の一環として行うものであり、受益者負担になじみませんが、ひろば事業は地域活動支援センター事業として利用者負担率3%を徴収しています。22年4月より、低所得者1・2の利用者は免除となります。(ただし、地域活動支援センター事業は本事業の業務内容ではありません。)		
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	運営費等の削減に努めており、これ以上の削減は、事業の縮小に繋がり事業の目的が達成できなくなります。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	運営協議会は、区の受託事業として地域活動支援センター事業(在宅者交流事業)、障害者地域自立生活支援センター事業などを実施するほか、手話講習会や要約筆記講習会を開催し手話通訳者や要約筆記者の養成に貢献しており、区の障害者支援事業の重要な役割を担っているといえます。人材確保や人材育成の方法や事業のあり方など今後とも区と連携をとり、障害者の支援の推進に努めていく必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	障害者福祉会館運営協議会と話し合い、部屋の貸し出し、各種催し物の開催について、利用率のアップ、内容の充実に努めました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	今後とも、運営協議会と話し合い各種サービスの向上に努めてまいります。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	現状維持にとどまらぬよう、障害者福祉会館運営協議会に対して、法人化等の具体化を積極的に働きかけていきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	日常清掃の障害者清掃員の賃金の見直しを行っていく予定で、現在の単価より増額をし、勤労意欲を向上させるよう検討します。							

## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		視覚障害者会館事業運営		款	4	項	1	目	3	事業	34	整理番号	215		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	206			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	57	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		①はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、自営や雇用が困難な人②視覚障害者及び家族、ボランティア団体		根拠法令等		(1) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		三療の免許を有する視覚障害者で、自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、開業若しくは雇用されるよう自立の支援を行う。		活動指標名(式)		(1) 三療(はり、きゅう、マッサージ)の利用者数 (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○三療(はり、きゅう、マッサージ)の施術の場の提供、視覚障害者向け講習会の実施、施設の貸し出しを行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)		利用率		算定式・指標の説明等		三療施術実施時間÷年間三療施術実施可能時間					
				成果指標名(2)				算定式・指標の説明等							

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	人	2,091	2,200	2,336	2,200	2,003	2,200	91.0	91.0	
	活動指標(2)	②										
	成果指標(1)	③	%	23.7	23.7	22.4	23.0	22.9	23.0	99.6	99.6	
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,577	11,761	10,622	11,802	11,802	12,002	21年度予算執行率% 100.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	10,575	11,759	10,620	11,800	11,800	12,000			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00	0.20 0.00	0.22 0.00	0.20 0.00	活動指標名、成果指標名について、事務事業の内容に合わない部分があったため、変更した。		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	457	453	453	1,776	1,953			1,776
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	11,034	12,214	11,075	13,578	13,755	13,778			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	5,277	5,552	4,741	6,172	6,867	6,263			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	11,034	12,214	11,075	13,578	13,755	13,778			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 215

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		1	館	11,800
(1)主な取組み	管理運営委託(指定管理者)			
	※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目			
	その他(運営事務費)			2
(2)事業実績	視覚障害者会館の事業運営については、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に指定管理者として委託しています。会館では、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助や三療施術を実施しています。また、独自事業として移動支援事業や居宅介護事業を行い活動の範囲を広げています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	指定管理者である福祉協会は、創立以来70年の伝統ある団体であり、当会館の前身の盲人会館含めて運営に深くかかわってきました。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	三療施術は利用者に概ね好評です。		
	今後の予測	本事業に位置づけられる視覚障害者会館の事業運営と別事業である移動支援事業等との整合性を図るため、整理検討する必要があります。		
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 視覚障害者の自立と社会参加の機会の増に寄与することと考えます。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	利用者数を増やすために、広報「すぎなみ」等を活用し、PRに努めていきます。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	視覚障害者の自立と社会参加を高める施設であり、受益者負担にはなじまないと考えます。ただし、三療施術など会員施術者のために場所を提供し、被施術者である利用者から利用料を徴収し本人の収入としています。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	運営費等の削減に努めていますが、これ以上の削減は、事業の縮小に繋がり事業の目的が達成できなくなると考えられます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 指定管理者	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り教養を高めたり、また交流の場を提供するなど、数少ない支援施設です。伝統があり経験の豊富なNPO法人視覚障害者福祉協会が指定管理者として受託し、施設の維持運営を行っていますので、利用者も安心して通い、会館の事業も評判が良いものとなっています。一方で、福祉協会は区の居宅介護事業や移動支援事業も受託しており、各事業の執行体制の整合性を図る必要性があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	会館の利用率を上げるため、広報「かぎなみ」の活用、PR等に努めました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	受託事業に係る福祉協会の執行体制について協議します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	特に区からの受託事業に係る人員配置について検討整理する必要があります。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	引き続き受託事業に係る人員配置等の執行体制の課題について、福祉協会と協議します。							



# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者交流館運営		款	4	項	1	目	3	事業	35	整理番号	216		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	207			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	7	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び指定管理者		根拠法令等	(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			障害者の自主的な活動のために施設を貸出し、地域での障害者の自立と参加を促す。		活動指標名(式)	(1) 利用回数 (2) 利用人員							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○18年度から指定管理者制度に基づき、和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営、貸出等を杉並区障害者団体連合会が行っている。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 利用率 算定式・指標の説明等 利用回数÷年間利用可能部屋数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	回	3,369	3,500	3,631	3,500	3,719	3,700	100.5	106.3				
	活動指標(2)	②	人	51,390	55,000	57,551	55,000	60,634	60,000	101.1	110.2				
	成果指標(1)	③	%	67	70	62	70	63	70	90.0	90.0				
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	28,967	32,554	28,847	32,765	29,559	33,217	21年度予算執行率%		90.2			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	28,966	32,554	28,847	32,765	29,559	33,217						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.10 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	914	905	905	888	977	888					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	29,881	33,459	29,752	33,653	30,536	34,105						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,869	9,560	8,194	9,615	8,211	9,218						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	449	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	449	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	29,881	33,459	29,303	33,653	30,536	34,105						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 216

21年度の事業実施状況	内容	規模	整理番号 216	
			単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	管理運営委託(指定管理者)高円寺	1	館	17,241
	管理運営委託(指定管理者)和田	1	館	12,318
	その他 ( )			0
(2)事業実績	高円寺と和田の障害者交流館の事業運営は、障害者団体連合会に指定管理者として委託しています。主な事業内容は貸し部屋業務ですが、部屋の利用率は年平均60パーセント以上で高いレベルで推移しています。指定管理者である連合会は、団体自主事業として交流館を拠点に高円寺交流館まつりやわいわい和田まつりを開催するとともに、区主催の障害者を対象とする催し物等の多くに参加するなど、活発な活動をしています。			
事業開始当初から現在までの変化	和田障害者交流館については平成7年度から、高円寺障害者交流館については平成14年3月から杉並区障害者雇用支援事業団に委託してきましたが、平成18年度から杉並区障害者団体連合会が指定管理者として管理運営等を行っています。			
事業環境の変化	特段ありません。			
今後の予測	杉並区障害者団体連合会による指定管理者は、平成21年度からも継続して指定しています。			
事業のあり方点検	<b>左の理由または具体的内容</b>			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	障害者の社会参加の場を増やすことは、今後も障害者施策の重要な課題で考えます。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	利用率の向上や、講習会等の参加を進めるために、広報「すぎなみ」等を活用し、PRに努めています。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	障害者の自立と社会参加を高める施設であり、障害者の利用に対しての受益者負担はなじまないと考えます。(ただし、目的外利用で一般区民に貸し出している利用料については徴収しています)		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	運営費等の削減に努めており、これ以上の削減は、事業の縮小に繋がり、事業の目的が達成できなく恐れがあります。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 指定管理者	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	杉並区障害者団体連合会が指定管理する高円寺交流館と和田交流館は、多くの障害者に交流の場を提供するとともに、地域に支えられた交流館まつりを始め交流館を広く開放し、会議室の目的外使用も盛んで、地域に密着した障害者施設となっています。連合会は16団体で組織する任意障害者団体であるため、今後、法人化を視野に入れ団体と協議していく必要があります。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 杉並区障害者団体連合会による指定管理者は、平成21年度からも継続して行っています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 連合会と連携し、交流館の利用率を上げるために、広報「すぎなみ」等の活用、PRに努めます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 部屋の利用率は高レベルであるが、連合会とPR方法などについて積極的に協議等行います。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 杉並区障害者団体連合会は、23年度末まで指定管理者として交流館の事業運営を行っていきます。現状にとどまらず活発な自主事業等の活動を行うよう求めていきます。

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		すぎのき生活園事業運営		款	4	項	1	目	3	事業	36	整理番号	217		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園		連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	208				
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	55	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		すぎのき生活園の利用者				根拠法令等	(1) 知的障害者福祉法 (2) 障害者自立支援法						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 重度の知的障害者に対して、個別支援計画に基づき日常生活の支援を行うことにより、日中生活の場を確保するとともに地域での自立した生活の契機とする。				活動指標名(式) (1) 日常生活支援活動における目標設定となる利用者数 (2) 日常生活支援活動における延べ利用者数									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 重度の障害がある利用者に対して ○日常生活動作の介助および自立能力向上への支援を行う。 ○送迎・給食の提供や健康管理を行うとともに各種行事を実施する。				成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		成果指標名(1)		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合		算定式・指標の説明等		成果のあった利用者÷利用者数							
		成果指標名(2)		出席率		算定式・指標の説明等		延べ通所人数÷(登録者数×開所日)							

  

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	人	84	84	84	84	80	84	95.2	95.2	
	活動指標(2)	②	人	16,976	17,917	16,718	17,917	16,542	20,412	81.0	92.3	
	成果指標(1)	③	%	99	100	95	100	76	100	76.0	76.0	
	成果指標(2)	④	%	86.1	90.0	85.0	90.0	87.2	100.0	87.2	96.9	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	94,844	96,268	92,565	103,836	99,280	99,113	21年度予算執行率% 95.6		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	54,637	79,522	78,002	86,332	84,028	82,153			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	49.21   1.00	44.00   2.00	45.70   2.00	41.50   2.00	45.22   2.00	43.50   1.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	449,779	398,200	413,585	368,479	401,508	386,237		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,770	5,600	5,600	5,586	5,586	2,793		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	547,393	500,068	511,750	477,901	506,374	488,143			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	6,516,583	5,953,190	6,092,262	5,689,298	6,329,675	5,811,226			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	116,449	111,575	117,318	181,869	154,657	184,088		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	116,449	111,575	117,318	181,869	154,657	184,088			
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	430,944	388,493	394,432	296,032	351,717	304,055			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	21.3	22.3	22.9	38.1	30.5	37.7				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 217

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	送迎用バス運行業務委託	240	日	60,380
	給食調理業務委託	239	日	25,313
	日常生活活動(執)	80	人	6,956
	利用者健康管理(執)	80	人	3,049
	その他(行事ほか)			3,582
(2)事業実績	①個別支援計画については園内での支援目標とともに、地域での生活を視野に入れて目標の設定を行い、達成に努めました。 ②出席率については高齢化に伴い欠席する利用者もいる中で、園での過ごし方や、丁寧な家庭生活のフォローなどを行い、出席していただけるように努めました。			
事業開始当初から現在までの変化	①措置制度から契約による利用になりました。 ②障害者自立支援法施行により、利用者が費用の1割(所得による減額制度有)を負担するようになりました。 ③21年度から新法(生活介護事業)に移行しました。 ④利用者の高齢化及び重複化が進みより高度な支援内容が求められています。			
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	①地域生活への支援充実や、家族の都合だけでなく利用者自身の意思決定を尊重した事業が期待されています。 ②施設利用の他に地域の社会資源を活用した支援が求められています。 ③開園時間の延長やドアツードアのバス送迎の要望を受けています。 ④定員に達している中、すぎのき生活園への通所を希望する住民がいる。			
今後の予測	①グループホームや、ケアホームから通園する利用者の増加が予想されます。 ②さらに個別的なニーズが施設に求められます。 ③平成22年度中には定員が一杯もしくは超える状況が予想されます。 ④同様の事業を実施する施設が増えることが予想されます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	重度の知的障害者の日中活動の場として一人ひとりの特性に則って充実した活動を提供できています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	すぎのきG・けやきGの相互利用の仕組みやグループの再編により、利用者がより多くの活動に参加できる環境を提供します。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	本事業は障害者自立支援法に基づき実施されており、費用負担額の基準も同法の規定により実施しています。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	行事等の実施方法について検討を行います。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続		
評価と課題	区立施設のサービス拡充策を検討し園内整理日を廃止するとともに22年4月から4時までの時間延長を開始しました。 区立施設は、継続的で充実した職員体制で重度障害者の日中活動の場を保証していますが、利用者のニーズは年々多岐にわたり、また個別化してきています。21年4月にはすぎのき生活園の定員超過への対応として重度知的障害者通所の場を民間施設で整備しました。その検証しつつ、重度知的障害者の今後のサービスのあり方について検討していきます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	コスト:		
	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ご家族からの長年のニーズに応え、平成21年度にサービス拡充の検討を行い、平成22年度から水曜日をのぞく、月曜日～金曜日のサービス時間の延長を行いました。それに伴い、職員の勤務体制を工夫し勤務時間の変更も行いました。宿泊行事の昼食費については自己負担としました。すぎのきグループとけやきグループの連携の強化をはかり、職員や事業の交流を積極的に行っています。			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたち) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 サービスの拡充と事業の合理化が引き続きの課題としてあります。水曜日の時間延長や土曜日の開園など、またそれに伴う職員の支援体制について今後も検討が必要です。引き続き公立施設の役割を検証する必要があります。			
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区立施設を民間に委ねる場合には、民間法人が人的・財政的に安定して事業を継続できるような十分な支援を行うとともに、利用者や家族の理解を得ることに最大限の配慮を行う必要があります。			
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	サービス拡充について引き続き検討を行います。 23年度開設の施設やケアホームへのスムーズな移行を進めます。		

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		こすもす生活園事業運営		款	4	項	1	目	3	事業	38	整理番号	218	
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	こすもす生活園		連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	210			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	5	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		こすもす生活園の利用者		根拠法令等		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるようにする。		活動指標名(式)		(1) 登録者者数＝生活介護登録者数＋自立訓練登録者数 (2) 延利用者数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○対象者(利用者)＝重度身体障害者 ○利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 ○個別支援計画の策定・実施、機能訓練、医療的ケア、入浴サービス、バス送迎、給食提供など。		成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 算定式・指標の説明等 成果のあった利用者÷利用者数 成果指標名(2) 出席率 算定式・指標の説明等 延べ通所人数÷(登録者数×開所日)						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	人	27	26	26	28	28	27	103.7	100.0			
	活動指標(2)	②	人	4,636	5,493	4,517	6,137	4,681	6,117	76.5	76.3			
	成果指標(1)	③	%	0	100	100	100	100	100	100.0	100.0			
	成果指標(2)	④	%	83.9	100.0	72.0	100.0	69.7	100.0	69.7	69.7			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	51,977	51,100	49,898	51,089	50,311	49,520	21年度予算執行率%		98.5		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	1,149	270	270	392	381	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	47,422	47,478	46,500	47,511	47,091	46,505					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	18.30 2.00	18.30 2.00	18.30 1.80	18.30 2.00	19.13 2.00	18.30 2.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	167,262	165,615	165,615	162,486	169,855	162,486				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	5,540	5,600	5,040	5,586	5,586	5,586				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	224,779	222,315	220,553	219,161	225,752	217,592					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,282,593	8,540,192	8,472,423	7,813,179	8,048,964	8,058,963					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	63,229	72,194	64,114	73,616	67,314	66,906				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	63,229	72,194	64,114	73,616	67,314	66,906					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	161,550	150,121	156,439	145,545	158,438	150,686					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	28.1	32.5	29.1	33.6	29.8	30.7						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 218

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				送迎用バス運行業務委託	
		給食調理業務委託			11,953
		利用者健康管理			960
		医療的ケア			613
		その他 ( 事業費 )			1,671
	(2)事業実績	事業運営の透明性の確保やサービス改善を目的として、5年ぶりに東京都の定める基準に基づく第三者評価を受審し、その結果について区ホームページ等に公表しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成5年、重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、平成16年に支援費制度が開始した際、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。障害者自立支援法が施行された現在は、同法に基づく生活介護と自立訓練の2事業を実施しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測	国レベルでは、現在のサービス体系の根幹である障害者自立支援法について、見直しの検討が行われています。このため、今後サービス体系が大幅に変更される事態も想定されます。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 重度身体障害者のための貴重な日中活動の場としての機能を果たしながら、利用者の自立や社会参加に向けてさまざまな取組みを行っています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	区立施設として今まで蓄積してきたノウハウを基に、職員が一層の創意工夫をこらし、可能な限りコストを増やさずに、新たなニーズに対応します。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	本事業は障害者自立支援法に基づき実施されているため、費用負担の基準についても同法の適用を受けています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	給食調理業務委託のコストを削減するため、従来の随意契約を取りやめ、入札を行いました。委託料を引き下げることには至りませんでした。			
	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続				
評価と課題	区立施設のサービス拡充の検討を行い園内整理日を廃止し、22年度からはスポット方式による利用時間の延長を開始しました。21年7月には区立の重度身体障害者施設が民間に移行するとともに、受入れ枠も拡充しました。民間施設の運営状況等を検証しつつ、重度身体障害者の今後のサービスのあり方について検討していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減         コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 障害者施設のあり方検討会報告に基づき、区立障害者施設のサービス拡充に関する取組みを開始しました。昨年度は、その一環として園内整理日を廃止し、開園日を増やしました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたち) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今年度4月からは、スポット方式による利用時間の延長を開始しました。また、区立障害者施設の運営について見直しの検討を予定しています。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区立施設を民間に委ねる場合には、民間事業者が人的・財政的に安定して事業を継続できるような十分な支援を行うとともに、利用者や家族の理解を得ることに最大限の配慮を行う必要があります。
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 平成23年度につきましては、今のところ事業の大幅な見直しは予定しておりません。

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		なのはな生活園事業運営			款	4	項	1	目	3	事業	39	整理番号	219		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課			係名	なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415			昨年度整理番号	211		
上位施策No・施策名											33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			なのはな生活園の利用者		根拠法令等		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			①日常的なさまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中で生き生きとした生活を送ることができる。 ②園の利用者の健康を維持するため、健康管理の支援や健康状態のチェック・医療的ケアを実施する。		活動指標名(式)		(1) 施設登録人数(生活介護登録人数+自立訓練登録人数) (2) 延べ通所者人数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○対象者(利用者)=重度身体障害者 ○利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 ○個別支援計画の策定・実施、機能訓練、医療的ケア、入浴サービス、バス送迎、給食提供など。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 算定式・指標の説明等 成果のあった利用者÷利用者数 成果指標名(2) 出席率 算定式・指標の説明等 延べ通所人数÷(登録者数×開所日)							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画		実績					
指標	活動指標(1)	①	人	27	34	33	34	27	30	90.0	79.4					
	活動指標(2)	②	人	4,968	7,218	5,546	7,240	5,552	7,260	76.5	76.7					
	成果指標(1)	③	%	85	100	97	100	100	100	100.0	100.0					
	成果指標(2)	④	%	68.4	100.0	77.0	100.0	83.0	100.0	83.0	83.0					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	50,521	51,266	50,165	51,282	50,657	51,462	21年度予算執行率%		98.8				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 指標、事業費等は、基本的に変化していません。						
	(内)委託費	⑦	千円	47,433	48,001	47,150	48,002	47,618	48,480							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	23.03   0.90	22.00   0.90	22.27   2.00	20.00   2.00	22.31   2.00	20.00   2.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	210,494	199,100	201,544	177,580	198,090	177,580						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,493	2,520	5,600	5,586	5,586	5,586						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	263,508	252,886	257,309	234,448	254,333	234,628							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	9,759,556	7,437,824	7,797,242	6,895,529	9,419,741	7,820,933							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	61,728	66,360	70,033	76,054	77,160	69,962						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	61,728	66,360	70,033	76,054	77,160	69,962							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	201,780	186,526	187,276	158,394	177,173	164,666							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	23.4	26.2	27.2	32.4	30.3	29.8								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 219

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				送迎用バス運行業務委託	
		給食調理業務委託			12,473
		利用者健康管理・医療的ケア			1,676
		日常生活活動			1,206
		その他 ( 事業費 )			12
	(2)事業実績	平成21年度に園内整理日(休園日)を廃止し、平成22年度から、希望する利用者に対して、午後3時～5時のスポットサービスの実施を開始しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	①利用者の加齢に伴い、障害の重度化が進んでいます。 ②家族の高齢化に伴い、ニーズの多様化が顕著になっています。 ③医療的ケアの内容が、質・量ともに増大しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	①個々の利用者の健康状況等に即したサービスの充実が求められています。 ②より幅の広い、肌理(きめ)細かなサービスの拡充が望まれています。 ③園の看護師、作業療法士・理学療法士を含めた園職員に対する、利用者・家族からの期待は大きいものがあります。			
	今後の予測	①利用者の加齢に伴う、障害の重度化が予測されます。 ②家族の高齢化に伴う、利用者の地域生活支援ニーズの増大が予測されます。 ③医療的ケアの対象者の増加とケア内容の質的・量的拡大が予測されます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	<b>左の理由または具体的内容</b>			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	生活介護事業は、身体に障害がある人が、地域の中でその人らしい生活を送る上で必要不可欠な事業です。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	課のサービス拡充等検討会を通じて、新たなニーズに対応できるサービス内容の具体的内容について検討しています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	この事業は、障害者自立支援法に基づいて実施されており、費用負担の基準についても、同法に拠っています。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	区立施設のサービス拡充策を検討し園内整理日を廃止するとともに22年度からはスポット方式による利用時間の延長を開始しました。21年7月には区立の重度身体障害者施設が民間に移行するとともに、受入れ枠も拡充しました。民間施設の運営状況等を検証しつつ、重度身体障害者の今後のサービスのあり方について検討していきます。なお、なのはな生活園においては、医療的ケアの必要な方が増加しており、支援体制検討していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減         コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成21年度に園内整理日(休園日)を廃止し、平成22年度から希望する利用者への午後3時～5時のスポットサービスを開始し、サービスの拡充に努めています。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 園内整理日(休園日)の廃止やスポットサービス開始に対する検証を今年度中にまとめ、来年度に向けて、サービス拡充の方向性を定めます。
	サービス拡充に伴って生じる人的・財政的コストについて、絶えず創意工夫を凝らし、サービス方法等の見直しを積み重ねることによって、コスト上昇を抑制します。
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理 由 サービス拡充を図っていきますが、知恵を絞って効率的な方法を追求することにより、予算増を回避します。



# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		なでしこ生活園事業運営		款	4	項	1	目	3	事業	40	整理番号	220		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	212			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			なでしこ生活園の利用者(重度身体障害者及び重度重複障害者)		根拠法令等	(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			利用者が持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。		活動指標名(式)	(1) 施設登録人数 (2) 延べ通所者人数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○生活介護計画の策定、実施、機能訓練、社会適応訓練、創作的活動、スポーツ、レクリエーション、健康相談、医療と福祉の相談、介護サービスを実施する。 ○平成21年4月～6月は民間委託、7月からは「マイルドハート高円寺なでしこ」に移行する。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 個々の利用者の年間生活介護計画について成果のあった利用者の割合 算定式・指標の説明等 成果のあった利用者÷利用者数 成果指標名(2) 出席率 算定式・指標の説明等 延べ通所人数÷(登録者数×開所日)							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	人	10	10	8	9	9				100.0			
	活動指標(2)	②	人	1,440	2,127	1,457	594	343				57.7			
	成果指標(1)	③	%	80	100	83	100	68				68.0			
	成果指標(2)	④	%	73.3	100.0	83.0	100.0	68.1				68.1			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	16,561	26,494	24,591	17,771	17,239			21年度予算執行率%		97.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0			特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	15,305	23,216	21,679	17,709	17,206							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	7.00 0.00	6.00 1.20	7.00 1.20	0.10 0.00	0.11 0.00			21年6月末をもって区立施設としては廃止、事務事業も廃止になりました。したがって指標や総事業費は4～6月分の実績です。				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	63,980	54,300	63,350	888	977						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	3,360	3,360	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	80,541	84,154	91,301	18,659	18,216							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,054,100	8,415,400	11,412,625	2,073,222	2,024,000							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	19,885	42,724	15,352	18,874	6,368						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	19,885	42,724	15,352	18,874	6,368							
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	60,656	41,430	75,949	▲ 215	11,848							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	24.7	50.8	16.8	101.2	35.0								

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 220

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	なでしこ生活園事業運営委託		
		利用者送迎バス運行業務委託			2,986
		給食調理業務委託			613
		保険料			33
		その他 ( )			
(2)事業実績	7月から民営施設への移行したため、活動指標の延べ利用者数や成果指標の利用率は前年度に対し下がっています。また、7月からの民営化により区職員定数削減と事業費の削減につなげました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	警察大学校跡地への民営障害者支援施設開設を控え、4月から6月までの期間、区立こすもす生活園の分園として位置付け、継承者である社会福祉法人に運營業務委託を行いました。21年6月末をもって区立施設としては廃止、事務事業も廃止になりました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「マイルドハート高円寺なでしこ」へのスムーズな引継ぎの実施が求められました。			
	今後の予測				
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか	「マイルドハート高円寺なでしこ」開設を視野に引継ぎまでの期間を委託することで、利用者の地域生活がより豊かなものになり、家族の負担を軽減することへ貢献しました。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は				
	(4)コストを下げる余地はあるか				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方			
評価と課題	4月開設の予定が7月の開設となり、その間、運営法人に区の施設での運営を委託しました。「マイルドハート高円寺なでしこ」の開設を迎え、スムーズな利用者の移行を実現することができました。また、民営化により区職員定数と事業費の削減を図りました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)								
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入								
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	● 予算なし		
	(2)理由	民営化により事務事業廃止になりました。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者福祉会館の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	1	整理番号	232				
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	223					
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	57	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			障害者福祉会館及びその利用者		根拠法令等	(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則									
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等の参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。						活動指標名(式)	(1) 施設の延べ床面積 (2) 保守委託契約件数								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。						成果指標	※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 不具合数(代) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績		計画		実績		計画		実績		目標値(目録値)				
指標	活動指標(1)	①	m <sup>2</sup>	1,441	1,441	1,441	1,744	1,744	1,744	100.0	100.0						
	活動指標(2)	②	件	2	9	9	9	9	9	100.0	100.0						
	成果指標(1)	③	件	12	0	6	0	12	0								
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	6,518	12,541	11,882	28,205	24,770	28,360	21年度予算執行率%			87.8				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 不具合数は発生しないことが望ましいため、計画は0とします。 21年度は、併設の高井戸福祉事務所が移転(21年5月に障害者雇用支援事業団が高井戸福祉事務所跡に転入)したため、20年度と比較し所管換えのため保守管理の経費が増大しました。							
	(内)委託費	⑦	千円	1,187	6,748	6,653	20,054	18,240	20,174								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.05	0.00	0.05	0.00	0.10	0.00					0.11	0.00	0.10	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	457	453	453	888	977					888			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	6,975	12,994	12,335	29,093	25,747	29,248								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	4,841	9,019	8,561	16,682	14,763	16,771								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0			
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	6,975	12,994	12,335	29,093	25,747	29,248								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む



## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		視覚障害者会館の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	2	整理番号	233		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	224			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	57	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			視覚障害者会館及びその利用者		根拠法令等	(1) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目標	（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者が安全で快適な環境の中で、活動できるように施設を維持管理する。						活動指標名（式）	(1) 施設延床面積 (2) 保守委託契約件数						
	活動内容	（事務事業の内容、やり方、手順） ○利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、機械設備の保守点検等を実施する。						成果指標	※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 不具合件数(代) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	m <sup>2</sup>	167	167	167	167	167	167	167	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②	件	2	2	2	2	2	2	2	100.0	100.0			
	成果指標(1)	③	件	0	0	0	0	0	0	0					
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,268	1,397	1,310	1,914	1,862	1,429	21年度予算執行率%		97.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	329	641	556	662	655	673						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.02 0.00	0.02 0.00	0.02 0.00	0.10 0.00	0.11 0.00	0.10 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	183	181	181	888	977	888					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,451	1,578	1,491	2,802	2,839	2,317						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,689	9,449	8,928	16,778	17,000	13,874						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	1,451	1,578	1,491	2,802	2,839	2,317						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む



## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者交流館維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	3	整理番号	234
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2275		昨年度整理番号	225	
上位施策No・施策名		33 障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	7	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者		根拠法令等	(1) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 (2) 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例						
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。		活動指標名(式)		(1) 施設延床面積(2施設合計) (2) 保守委託契約件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 不具合件数(代) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	m <sup>2</sup>	693	693	693	693	693	693	693	100.0	100.0	
	活動指標(2)	②	件	1	1	1	1	1	1	1	100.0	100.0	
	成果指標(1)	③	件	1	0	0	0	0	0	0			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,109	4,125	3,918	4,134	3,754	4,270	21年度予算執行率%		90.8	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	2,334	2,590	2,467	2,599	2,451	2,735				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.04 0.00	0.04 0.00	0.04 0.00	0.04 0.00	0.11 0.00	0.10 0.00				
	人件費	⑨	千円	366	362	362	355	977	888				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	4,475	4,487	4,280	4,489	4,731	5,158				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	6,457	6,475	6,176	6,478	6,827	7,443				
	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	4,475	4,487	4,280	4,489	4,731	5,158					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 234

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	施設保守管理委託	1	所		2,272
	光熱水費	1	所		1,303
	維持管理経費	1	所		179
	その他 ( )				0
(2)事業実績	障害者交流館の保守管理については、指定管理者である杉並区障害者団体連合会と連携し行っていますが、高円寺交流館は併設の高円寺福祉事務所と役割分担を行いながら、利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。また、和田障害者交流館についても、和田小学校の施設の一部を区民集会所と併設で目的外使用し、高円寺交流館と同じ指定管理者と連携し同様な内容で行っています。				
事業開始当初から現在までの変化	和田障害者交流館については平成7年度から、高円寺障害者交流館については平成14年3月から杉並区障害者雇用支援事業団に事業運営を委託し、区としては維持管理を担ってきましたが、平成18年度から杉並区障害者団体連合会が指定管理者として管理運営等を行っています。				
事業環境の変化 事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	駐車場の狭さに関する意見の他、保守管理委託については、特段の変化はありません。				
今後の予測	杉並区障害者団体連合会による指定管理者は、平成20年度で期間満了になったため、再度次期指定管理者として評価を行った結果、継続して指定することとしました。今後は交流館の維持管理のあり方について検討します。				
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 利用者に安全で快適な活動環境を提供しています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)				
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		施設の適切な維持管理を行うとともに、杉並区障害者団体連合会職員及び利用者に協力を求め、効果的な環境を形成します。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		障害者の社会参加を支援する付随的な保守管理であるため、受益者負担になじまないと考えます。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		省エネや効率的な維持管理に努めているが、利用者の安全や施設の快適性を確保するための必要不可欠な経費と考えます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	利用者の安全で快適な環境を確保するため、指定管理者である杉並区障害者団体連合会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等に協力を求めてきました。このため、施設内での大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。22年度は磁気ループの使用可能スペースの拡充を図りました。一方、高円寺交流館は、駐輪場が狭隘であることや土壌環境の関係で地階施設の湿度が高いなど、利用者の利便性のうえで課題もあります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	利用者の安全安心かつ快適な環境を確保するための必要な経費を除き、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等の協力を求めていきます。モニタリングも実施します。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	利用者の安全安心かつ快適な環境を確保するための必要な経費を除き、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等の協力を求めていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	杉並区障害者団体連合会の職員に対して経費節減等の意識を高める機会が少ない現状にありましたが、様々な場面で職員の自覚は高いものになってきました。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	指定管理者として5年目を向かえる障害者団体連合会に対して、建物の保守管理の適正化や経費節減の協力を求めていきます。							



# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		障害者施設運営		款	4	項	1	目	6	事業	4	整理番号	235	
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係		連絡先電話番号		2273		昨年度整理番号	226		
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		障害者生活支援課本庁職員		根拠法令等		(1) 契約事務規則 (2) 会計事務規則						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実		活動指標名(式)		(1) 障害者生活支援課本庁職員 (2) 需用費合計						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入。 ○各園の事業運営や維持管理に含めることの難しい運営に必要な諸事務経費(区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、研究会負担金等)。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)	①	人	99	9	9	9	9	9	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②	円	7,061	402	309	1,512	1,427	1,580	90.3	94.4			
	成果指標(1)	③												
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,063	2,057	1,707	3,917	3,653	4,083	21年度予算執行率% 93.3				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 活動指標(1)について19年度までは生活園4園に予算配当されているため、当該職員数である。「委託費」には役務費と工事費を含む。活動指標(2)について、20年度に増額になっている理由は修繕費を100万円計上したため。				
	(内)委託費	⑦	千円	0	817	712	1,680	1,546	1,864					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.50 0.00	0.56 0.00	0.50 0.00					
	人件費	⑨	千円	914	905	905	4,440	4,972	4,440					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,977	2,962	2,612	8,357	8,625	8,523					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	19,970	329,111	290,222	928,556	958,333	947,000					
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
国からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0						
都からの補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等	⑰	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑱)	⑲	千円	1,977	2,962	2,612	8,357	8,625	8,523						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 235

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				樹木管理委託	1
		施設・事務室改修			1,512
		パソコン賃借料等			403
		その他 ( 研究会負担金、報償費等 )			352
	(2)事業実績	本庁職員が施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入の他、各園の事業運営や維持管理に含めることの難しい運営に必要な諸事務を行っています。委託料は区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定費で施設及び近隣の住環境の維持向上を図っています。			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事務事業の経費削減に努めながら、需用費の支出については効率的かつ効果的に執行しています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特にありません。			
	今後の予測	コスト削減に加え、環境配慮に配慮した事務用品の購入等が求められます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)	経常的事務経費です。			
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	環境に配慮した事務用品の購入、職員のコスト意識の強化等に努めます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	受益者負担に馴染みません。			
(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	加入義務のない研究会等への加入を見直します。				
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[その他]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善・改革は難しいが、21年度から「防火管理研究会負担金」の支出を中止しました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)								
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善・改革は難しい、常に加入義務のない研究会等への加入見直し等の視点は必要と思われます。								
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	運営に必要な諸事務・諸経費のため増減は無いと見込まれます。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		すぎのき生活園の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	5	整理番号	236		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園		連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	227				
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	55	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			すぎのき生活園の利用者		根拠法令等		(1) 杉並区立すぎのき生活園条例 (2)						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。		活動指標名(式)		(1) 延べ床面積 (2) 開園日数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 中規模修理事件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	m <sup>2</sup>	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②	日	237	237	236	237	240	243	243	98.8	101.3			
	成果指標(1)	③	件	14	10	10	10	6	10	10	60.0	60.0			
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	20,668	22,565	22,144	21,346	20,140	20,155	21年度予算執行率%		94.4			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	7,515	9,016	8,883	9,301	8,885	9,730						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.54   1.00	2.50   1.00	3.26   1.00	2.50   1.00	2.95   1.00	2.90   1.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	23,216	22,625	29,503	22,198	26,193	25,749					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,770	2,800	2,800	2,793	2,793	2,793					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	46,654	47,990	54,447	46,337	49,126	48,697						
	単位あたりコスト	⑫	円	19,183	19,732	22,388	19,053	20,200	20,023						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	2	0	2	0	2					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計		⑰	千円	0	2	0	2	0	2						
差引:一般財源		⑱	千円	46,654	47,988	54,447	46,335	49,126	48,695						
受益者負担比率	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 236

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2)事業実績	施設保守管理委託		
		光熱水費			8,155
		維持管理経費等			3,963
		その他( )			
		その他( )			0
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度に、2つの施設であったすぎのき生活園、けやき生活園を併合しました。その後、維持や保守の契約の一本化を行うことにより維持管理経費の削減に努めています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特段の苦情は寄せられていません。			
	今後の予測	同様の事業を実施する事業所が少しずつ増えると予想されます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 利用者に安全で快適な職場環境を提供しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	日々の点検を強化して早期に小規模修繕を行うとともに、大規模修繕については営繕課と連携を深めて計画的に行っていきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	目的外使用については数年間実績がありません。また、目的利用の負担金については障害者自立支援法に負担金額が定められています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	光熱費など日々の見直しを行い、削減に努めます。			
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	経年による施設の老朽化および施設の性格上、建物設備の傷みが激しい現状です。事故防止、安全管理のため、日々の点検を重視していますが、計画的に修繕を実施する必要があります。21年度から日常清掃業務を障害者事業所へ委託し障害者の仕事の間が拡大されました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増    ● 現状維持    ○ 減	コスト: ○ 増    ● 現状維持    ○ 減			
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	限られた予算の中で、適切な施設の維持管理を行うため、緊急度や優先度合いを勘案しながら、建物修繕に対応しました。			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	今後とも各園一括契約の項目を増やすことにより、一層の効率化を進めます。			
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増    ○ 増    ● 増減なし    ○ 減    ○ 大幅減    ○ 予算なし			
	(2)理由	維持管理経費については大きな変化は生じていません。			

## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		こすもす生活園の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	6	整理番号	237		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	こすもす生活園		連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	228				
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	5	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		こすもす生活園の利用者		根拠法令等		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。		活動指標名(式)		(1) 施設の延床面積 (2) 開園日数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 中規模修理件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	m <sup>2</sup>	794	794	794	794	794	794	794	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②	日	239	237	237	238	241	243	243	99.2	101.3			
	成果指標(1)	③	件	9	10	10	10	10	10	10	100.0	100.0			
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	7,831	8,689	8,154	8,938	7,856	8,591	21年度予算執行率%		87.9			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○職員数は21年度から、実態に合わせ本庁と施設分を合計し算定した。					
	(内)委託費	⑦	千円	3,315	3,910	3,881	3,816	3,774	3,771						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.70 0.00	0.70 0.00	0.70 0.00	0.70 0.00	1.95 0.00	1.90 0.00	1.90 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	6,398	6,335	6,335	6,215	17,314	16,870					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	14,229	15,024	14,489	15,153	25,170	25,461						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	17,910	18,910	18,248	19,084	31,700	32,067						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	57	59	56	56	56	56					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	57	59	56	56	56	56						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	14,172	14,965	14,433	15,097	25,114	25,405						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 237

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設保守管理委託	
		光熱水費			2,739
		維持管理経費等			1,764
		その他 ( )			0
	(2)事業実績	予算に基づき、計画的な事業執行を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	施設開設から16年が経過し、設備面を中心に老朽化に伴う不具合が生じてきています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特にありません。			
	今後の予測				
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策	重度身体障害者の日中活動の場として、利用者に安全で快適な生活環境を提供しています。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	現状の施設の生活環境を維持継続していくためには、施設の老朽化に応じた経費の増額が必要です。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	本施設で実施している事業は、障害者自立支援法に基づくサービスであり、費用負担の基準についても同法の適用を受けています。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	入浴設備や空調機など設備面を中心に老朽化が顕著となっているため、今後計画的に設備の入替えを行っていく必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ○ 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ○ 現状維持 ○ 減			
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	限られた予算の中で、適切な施設の維持管理を行うため、緊急度や優先度合いを勘案しながら、建物修繕に対応しました。			
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	施設開設から16年が経過し、設備面を中心に老朽化に伴う不具合が生じてきています。老朽化に伴う不具合の数や程度は、今後ますます増加し、また深刻化していくことが見込まれるため、計画的に保守・補修等を行っていく必要があります。			
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	区全体の施設保全計画との整合を図りながら、計画的に進めていきます。			
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	● 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし			
	(2)理由	入浴設備につきましては、特に喫緊の対応が必要な状況となっております。			

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		なのはな生活園の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	7	整理番号	238
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	なのはな生活園		連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	229		
上位施策No・施策名		33 障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		なのはな生活園の利用者		根拠法令等		(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。		活動指標名(式)		(1) 施設延べ床面積 (2) 保守委託契約件数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
				成果指標名(1)		中規模修理件数		算定式・指標の説明等					
				成果指標名(2)				算定式・指標の説明等					

  

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	m <sup>2</sup>	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0	100.0	
	活動指標(2)	②	件	8	8	8	8	8	8	100.0	100.0	
	成果指標(1)	③	件	6	0	14	0	11	0			
	成果指標(2)	④										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	9,017	11,055	10,349	11,771	11,111	10,908	21年度予算執行率% 94.4		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○職員数は21年度から、実態に合わせて本庁と施設分を合計し算定した。		
	(内)委託費	⑦	千円	3,842	5,118	4,507	5,505	5,384	5,069			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.16 0.00	1.00 0.00	1.27 0.00	1.00 0.00	1.95 0.00	1.90 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,602	9,050	11,494	8,879	11,111			16,870
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	19,619	20,105	21,843	20,650	22,222	27,778			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	19,258	19,735	21,441	20,270	21,808	27,260			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	17	1	12	1	14			8
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	17	1	12	1	14	8			
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	19,602	20,104	21,831	20,649	22,208	27,770			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 238

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設保守管理委託	
		光熱水費			4,278
		維持管理経費等			1,904
		その他 ( )			0
	(2)事業実績	数年前から不具合箇所が多かった園の排煙窓の改修について、営繕課に実情を報告した結果、平成22年度の営繕課の予算に、園の排煙窓の改修費用が計上されました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	園庭の植栽の維持管理について、専門業者による保守委託以外に、区民のグリーンボランティアや近隣住民の協力によって植栽の剪定を行い、コストを削減しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区の直営による施設運営に対して、利用者・家族から大きな信頼が寄せられています。			
	今後の予測	区の基本方針や財政状況の変化により、影響を受けることも考えられます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)	利用者に、常に安全で快適な施設環境を提供しています。			
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	施設の環境をより良好な状態に保持するため、園庭の植栽の維持管理等について、専門業者委託だけではなく、従来からの区民のグリーンボランティアや近隣住民等の協力も得て、コスト削減を継続していきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	本事業は、障害者自立支援法に基づき実施されており、費用負担の基準についても、同法の適用を受けています。			
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	施設の経年劣化に伴い、施設・設備の不具合箇所の増加が見込まれますが、毎日の清掃の励行や設備点検などの日常的なチェック体制を徹底することによって不具合箇所の早期発見、早期対応を行い、コスト上昇を抑制します。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	施設・設備の経年劣化はこれからも進みますので、安全で快適な施設として維持管理していくため、今まで以上に施設の保守管理に日常的な配慮をするとともに、高熱水費の抑制に努めることを通じて、施設・設備の維持管理コストの上昇を抑制します。21年度から日常清掃業務を障害者事業所へ委託し障害者の仕事の場が拡大されました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	施設開設から10年以上が経過し、施設・設備の経年劣化に伴って修理・修繕箇所が増加しており、平成22年度は、数年来の懸案であった園の排煙窓の不具合を全面改修し、安全で快適な施設の維持管理を進めました。今後も、さらに計画的な施設保全に取り組んでいきます。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	営繕課との連携を強め、区の施設保全計画に沿って、施設・設備の必要な箇所の修理・修繕を進めます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	区の財政的な制約の中での優先順位の問題はありますが、営繕課との連携の中で、早期に対応できるよう努めていきます。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	施設の維持管理については大きな変化はないので、維持管理費の増減はありません。							



## 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		なでしこ生活園の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	8	整理番号	239		
担当部課名		保健福祉部障害者生活支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	230			
上位施策No・施策名										33	障害者の社会参加や就労機会の拡大		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			なでしこ生活園の利用者		根拠法令等	(1) 障害者自立支援法 (2) 杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。		活動指標名(式)	(1) 施設延べ床面積 (2) 保守委託契約数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○利用者が安全で快適に過ごせるようにするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		成果指標名(1)	中規模修理件数		算定式・指標の説明等										
		成果指標名(2)			算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	m <sup>2</sup>	452	452	452	452	452	0		100.0				
	活動指標(2)	②	件	2	2	2	6	6	0		100.0				
	成果指標(1)	③	件	1	0	1	0	1	0						
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,389	5,375	4,276	1,477	1,152	0	21年度予算執行率%		78.0			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	3,248	3,623	3,376	981	896	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.20 0.00	1.20 0.00	1.20 0.00	0.10 0.00	0.33 0.00	0.00 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,968	10,860	10,860	888	2,930	0					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	15,357	16,235	15,136	2,365	4,082	0						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	33,982	35,925	33,493	5,233	9,031							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	15,357	16,235	15,136	2,365	4,082	0						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 239

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設保守管理委託	
		光熱水費			219
		維持管理経費			173
		その他 ( )			0
	(2)事業実績	「区立なでしこ生活園」として3か月運営した。施設保守管理委託(清掃、機械設備、昇降機、電気工作物、防災設備、自動ドア)は阿佐谷南児童館併設であり児童青少年課への令達を行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	開設当初から建物設備の老朽化が顕著であるが、施設維持管理経費の削減に努めました。7月に「マイルドハート高円寺なでしこ」が開設し21年6月末をもって区立施設廃止。事務事業も廃止となりました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか	利用者に安全で快適な生活介護の環境を提供しました。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は				
	(4)コストを下げる余地はあるか				
協働等 点 検	(1)協働等の実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 民営化	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題					

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由 事務事業廃止になりました。		